

第7回全国地域おこし
名人・達人サミット in 掛川プレ企画
労働者協同組合法 成立記念作品

人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。

7/5(日)SK 駅前ホール (4階)

(掛川市駅前4番地の4 SKしんきんプラザ4階)

午前の上映 10:00 -
(9:30より開場)

午後の上映 14:00 -
(13:30より開場)

中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは!

主催：一般社団法人 日本社会連帯機構

共催：第7回全国地域おこし名人・達人サミット in 掛川実行委員会
労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

後援：掛川市・掛川市教育委員会・公益社団法人大日本報徳社・蓮福寺・春林院・NPO 法人 WAKUWAKU 西郷
株式会社あらまほし・合同会社 Brass Entertainment Company・株式会社藤本組 (順不同・敬称略)

上映後、谷津賢二さんと
関係者のミニ座談会

谷津賢二 (やつけんじ)

1998年から2019年まで、アフガニスタン・パキスタンでの中村哲医師の活動を記録し、その記録をもとにした本作品と映画『荒野に希望の灯をともし』は全国で上映され、多くの人に鑑賞されている。

【写真提供】日本電波ニュース社



医師中村哲の
仕事・働く
ということ

語り◎室井滋 朗読◎塚本晋也

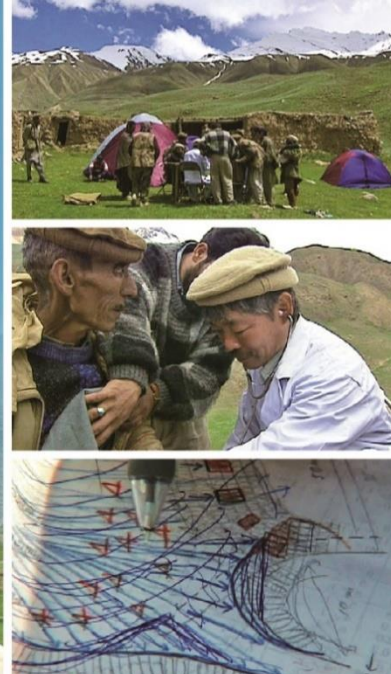
写真映像提供◎ベシワール会/PM S
企画・提供◎日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会センター事業団
一般社団法人日本社会連帯機構
製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分





医師中村哲の
仕事・働く
ということ

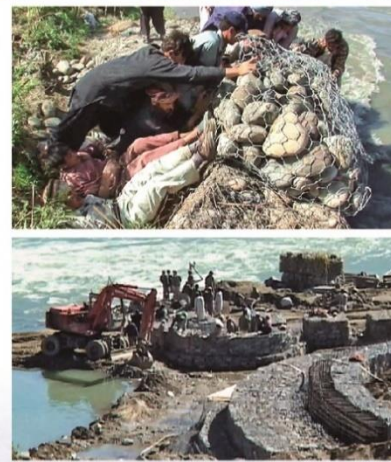
アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。



1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は「現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと」である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。中村医師は言う「これは人間の仕事である」



日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)はその産声を上げた時から“失業・貧乏・戦争なくせ”をスローガンとして活動してきました。その日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)が中村医師の生き方、働き方に強く共鳴し、21年の歳月をかけて中村医師を記録してきた日本電波ニュース社に依頼し“働くこと”と“仕事観”に焦点を当てて作られたのが本作品です。

7/5(日)SK 駅前ホール(4階)

午前 10:00-11:30 午後 14:00-15:30
上映後、谷津賢二監督と関係者のミニ座談会

参加費:一般 1,000 円(学生・障がい者 500 円、高校生以下無料) 9:30/13:30 より受付・開場
先着申込制 192 席 駐車場200台(有料:5 時間まで 100 円/30 分ごと)*参加費とは別です

**** 【申込方法】 下記にご記入頂き FAX(03-4332-4524)もしくはこちらのコードでお申込みください

(FAX 送信時点でお申し込み完了です。このコードからのお申込みは Google form の控えが届きます。迷惑メールもご確認ください。当日 1,000 円を頂きます。駐車場に限りがあります。バスや電車などもご利用ください)

7/5 掛川

お名前	(合計 名)	交通手段	徒歩・バス・電車・車・車乗合・他
所属・お住まいの地域		観覧希望	午前 ・ 午後
電話番号	— —	Mail	@



FAX(03-4332-4524)もしくは二次元コード読み取りでの申し込みができない方の申込・問い合わせ先
一般社団法人 日本社会連帯機構 jssso@roukyou.gr.jp 電話 03-6907-8051 (平日 10:00-17:00)